

# 「笑顔あふれる学校」を創る

校長 石田 雄介

グランドデザインの中心に、「子どもの笑顔」を描いています。五泉南小学校の教育の中核は、「笑顔を生み出す教育を進めること」にあるからです。「子どもが主役」となる学校づくりの合言葉は、「笑顔」です。笑顔を生み出す授業や教育活動を実現し、笑顔で協働する職員・保護者・地域の連携を強固にする。このことを目指して今年度の学校運営を進めて参ります。

職員には、次のように話しています：

1. 「日々の授業」を大切に、「未来を生きる力」を身に付けさせましょう。
  - ・子どもに説明させる授業で子どもを育てましょう。
  - ・全ての教育活動で主役たるにふさわしい自己表現力を培いましょう。
2. 「Change」は、「Challenge」の中にあります。
  - ・Learning(学び) Lesson(練習) Energy(エネルギー)のレベルを上げましょう。
  - ・挑戦的・研究的で楽しい授業や活動を生み出し、子どもを変えましょう。
3. 「保護者や地域とのかかわり」を大切にしましょう。
  - ・子どもを一緒に育てていきましょう。
  - ・地域のひと・もの・ことに進んでかかわり、良い関係を築いていきましょう。

また、子どもたちには次のような話をしました：

皆さんが、6年かけて目指す目標は、「自分で考え たくましく生きる子ども」になることです。

そのための合言葉は、「み・な・み」です。

1. 「み＝みんな笑顔でありがとう」
2. 「な＝なやみを出し合える仲間になろう」
3. 「み＝未来を見つめ、チャレンジしよう」

単なる知識の獲得ではなく、学校教育は「来る未来に通用する生きる力」を子ども一人一人に育む役割を担っています。しかも、今年度も新型コロナウイルス禍が続く中で、この役割を果たしていくことが求められています。様々な制限がかかる中、良質な教育を進めることはたいへん難しいですが、大きくメンバーチェンジした本校職員は、「やる気と子ども愛」に満ち溢れています。「主体的・対話的で深い学びの実現」「豊かで温かなコミュニケーション能力の育成」等、力を入れていきたいことは山積していますが、五泉南小学校は、新しい時代の教育を生み出す取組を笑顔で継続させていく年にして参ります。

新年度の始業式の日、校門で目を輝かせて挨拶する子、新任の先生方の挨拶を、遠くからでもしっかり聴いている子、堂々と自分のめあてを発表した代表児童の素晴らしい姿。私は今年度の初日からまたも感動しました。この素敵な南っ子の笑顔があふれる学校を目指し、全職員で「未来を生きる力を育む教育」を進めます。どうぞよろしく願いいたします。